

いいまちづくり 観音寺輝き隊通信

令和六年六月一日 発行

文責：大西
編集：白川

【琴弾公園ヒストリー ④9】

《琴ヶ濱貞夫》その2

琴ヶ濱貞夫（ことがはまさだお）は『寛永通宝』が描かれた化粧まわしを身につけた力士です。貞夫は昭和二十年（一九四五年）に戦争が終わると軍隊で覚えた相撲を生かして生きていこうと決心しました。

入門後の初土俵は一勝もできず厳しい出発になりましたが、持ち前の根性で激しい稽古を続け昭和二十二年に同じ観音寺出身



海岸寺の山門 琴ヶ濱関の力士像がある



ことば
琴ヶ濱 貞雄（氏名が不明）
●生年月日 昭和10年10月10日
●出身地 神奈川県川崎市青葉区

力士である琴錦（ことにしき）の「琴」（氏神様の琴弾八幡宮から）と郷里の美しい砂浜から『琴ヶ濱』の四股名（しこな）を貰い奮闘しました。猛稽古のせいで左膝を痛め一ヶ月余の入院後「もう相撲は無理かもしれない」と宣告されましたが、苦肉の策で右足を軸にして浮いた左足を飛び道具に「打掛け」技を考えつき練習を重ねて必殺技に仕上げたのです。後に「打掛けの名人」と呼ばれ、昭和三十三年ついに大関にまで登り詰めました。引退後は尾車親方として活躍し昭和五十六年に五十三歳で亡くなりました。

◆公園清掃日について◆

今月の清掃日は 6月3日です。

午前八時～九時（雨天：6月10日）

琴弾公園の池付近に集合
みんなでいい汗を流しましょう。
※問い合わせ 080-3211-11962



「琴弾公園クイズ 62」

琴弾山にある石井朝太郎の歌碑
「動くともみえぬ白帆の連なりて
〇〇しずかなりせとの内海」

- この〇〇に入る言葉は？
①あさ ②ひる ③よる



「輝き隊通信バックナンバー」と検索
または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることが出来ます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。



雑談 寛永

日本の相撲の起源は神話の時代までさかのぼると言われています。そこからの長い間、力くらべの競技として、農作物の豊作を願う神事として、日本の文化・歴史の中でいつも私たちの生活の身近な存在となっていました。本場所では私の百一歳の母もテレビに眞顔の力士が出てくると一生懸命に応援します。本場所ですでに使われる土俵は毎回手作業で全て作り直され（国技館での開催時は表面の部分のみ新しい土になる）初日の前日には土俵祭という厳粛な神事が行われます。これは神さまに土俵に降りてきていただき、場所中の安全と興行の成功・国家の安泰・五穀豊穡を祈願するもので、一般の見学も可能だそうです。そして千秋楽には神送りの儀式として神さまに天に帰っていただくために行司を胴上げします。ちよつと意外な儀式ですが大切にしたい文化ですね。

(M)



◆いいまちづくり 観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力を高めること」を主な目的にしている小さな団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようとして頑張っています。